

事業所における自己評価結果

事業所名		SEDスクール武蔵新城		公表日 令和6年 1月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>個室を利用しながら安全に運動遊びができるように工夫している。</li> <li>個室を活用したり、遊具を撤去したりするなどをして、スペースを確保している。</li> <li>大型遊具を設置し、利用人数3人となると手狭に感じられるが、指導員同士で指導員同士で導線を確保することで安全確保している。</li> <li>個室を利用したり、同じ時間帯の担当指導員と事前にスペースの話し合いをして工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用定員は10名となっており、規定上は適切なスペースとなっており、全職員がヒヤリハットの意識を高く持つことで、大きな事故やけがなどがなく実施できています。これまでと同様、限られた物理的条件のもと、工夫できることはないか確認していき、安全に配慮した運営に努めてまいります。</li> </ul>
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間の連携を強化し、立ち位置の工夫やプログラム内容に共有をすることで安全に遊べるようにしている。</li> <li>職員が一人でも休みになると人手不足に思うが、協力し支え合いながら勤務している。</li> <li>利用児一人一人にケアが行き届くよう、支援の担当制を設け、職員が意識して取り組んでいる。</li> <li>ある時間帯においては余裕があるとは言えないが、職員同士で連携している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配置数として現在12月時点で足りていますが、体調不良等が重なるとどうしても人手不足になりがちになる時間帯もあります。健康管理を一人ひとりが意識していきながら、万全な体制でできるように心がけていきます。</li> <li>子育て世代の短勤務や非常勤勤務など職員の働き方を加味し、時間割の変更を次年度検討していきます。</li> </ul>
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレは狭く、座ってできる便器とストール小便器があるが、男女分けされていないため同時に使用する際、プライバシーを守るためマットで目隠しを作るなど対応している。</li> </ul>	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃は毎日行っている。</li> <li>感染症対策のため遊具とおもちゃの消毒を常に行っている。</li> </ul>	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの状態に合わせて個室を利用していたら、落ち着きたいときに子ども自身が個室に入っていき、落ち着いたケースがあった。</li> </ul>	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>日々のカンファレンスを中心に全職員で話し合いができています。</li> <li>日々のカンファレンスを実施している。</li> </ul>	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>CSアンケートをもとに対応・環境等、職員全員で考え見直しを行っている。</li> </ul>	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>日々のカンファレンス内で意見が言えたり共有する機会がある。</li> </ul>	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在実施しておりません。内部監査を行っている為、今のところ来年度も実施予定はございません。</li> </ul>
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は新しい研修も開催され学びの機会になった。</li> <li>前年度と比較し、学びとなる研修がちょうど良いペースで開催されており、参加しやすく感じる。</li> </ul>	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>自信をもって皆が出来ていると言えます。</li> <li>一人一人のニーズを踏まえたプログラム立案をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援プログラムはHP上に掲載・公表されております。</li> </ul>
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>日々のセッションや園訪問などでアセスメントを行い、振り返り時や成長確認シートなどからニーズの把握を行っている。</li> <li>丁寧に作成できていると感じる。</li> <li>一人のお子さんに対し、複数の指導員がセッションを担当することで多角的な視点でアセスメントしている。</li> </ul>	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>支援計画立案のためのミーティングを利用者一人ひとりに設けている。</li> </ul>	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の支援計画と専門的支援計画に基づいた月のねらいを立て実施している。</li> </ul>	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>月ごとのねらいをチームで確認し、計画に沿ったプログラムになるようにしている。</li> </ul>	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要があれば同じ活動を継続して行うこともあるが、子どもが楽しんで活動できるように工夫している。</li> <li>いろいろな遊びを皆で考えている。私には想像もつかなかったような遊びを考えられており、気づきを得ています。</li> <li>一人ひとりの課題に合うように、特に遊びのねらいについては固定化しないように心がけている。</li> </ul>	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	平等にモニタリングの機会が設けられているかは曖昧だが、必要に応じてモニタリングをしている場合はある。	セルフプランの利用者が多く、相談支援事業所のモニタリングは少ない。必要に応じて支援期間の短縮や見直しを実施しています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		保育園に関する連携は力を入れていると思う。他の関係機関との連携も実施していくことで、よりお子様の状況を把握できると思う。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		就学に向けての課題や支援方法、これまでの成長点を把握するための園見学を実施する例もある。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・小学校連携は例年難しいようだが、再度調べたり、聞いてみようという話が出ている。 ・必要に応じて行う予定。	・保護者の要望に応じて就学先への引継ぎ事項をまとめる等、検討中です。 ・保育所等訪問支援を次年度実施する予定です。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4	・助言を受ける機会は今年度なかったが、必要があれば設けていく。 ・SED他スクールから助言をお願いすることはある。児発センターとの連携も検討していきたい。 ・SWと連携を図ることはあるが、スーパーバイズや助言を受ける機会があるかは不明。	療育センターやきつずサポートとの連携は図れているので、機会があれば活用していきます。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・職員は園訪問やBLMで機会はある。子どもの個人情報に配慮しながら行うには検討が必要。 ・園訪問に行かせていただく事はあるが、地域の中で他の子どもと活動する機会はもてていない。 ・マンツーマン療育・グループ療育の実施を主としているため施設間交流は行っていない。	事業所の特性上、そういった機会をもつことが難しいですが、機会があれば参加していけたらと思います。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		セッション後のフィードバックでは、こちらが伝えるだけでなく、聞き取ることもしながら共通理解につなげている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・スクールで研修は開催していないが、情報提供は行っている。 ・現在は区からの発達支援セミナーの情報を提供している。 ・スクールで研修をすることはしていないが、区によってできる場があることの手紙を玄関先に置いて自由に手に取れるようにしている。	
保護	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		初回はスクール長から丁寧な聞き取りを行い、更新時は成長確認シートを発行し、保護者にご記入いただくことで確認している。	
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	・小学校の情報など共有できる場を設けるなど来年度に向けて検討していきたい。 ・教室でできる取り組みとして、親子共同のプログラムを考え、適宜実行している。 ・保護者のみでの開催イベントは現在行っていないが、グループプログラムの振り返りは保護者同士が関われる機会となっている。	先輩お母さん・お父さんとしてそういった場で話をしてくださる方がいらっしゃったら、機会を設けていけたらと検討しています。

者への説明等	37	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		今年度は園連携希望に対して訪問だけでなく、電話でも対応したり、以前よりも早く対応できていると思う。	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・きらきら通信、眠育のすすめ、リタリコブログなどで発信している。</li> <li>・リタリコのブログを通して発信している。</li> <li>・10月～リタリコのブログをアップして発信を再開している。</li> </ul>	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報について研修を受けた後、一層職員の意識が高まったと感じる。</li> <li>・名前の記載されている書類は指差し確認、外部との電話連携の際の注意点を職員間で話し合い常に意識している。</li> <li>・個人名が書かれたファイルの棚を閉める意識や、情報を共有する場合でタイミングや声の大きさをに注意している。</li> </ul>	
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境や話すスピード、メモを書いて渡す等の配慮をしている。</li> <li>・必要な保護者に応じてコドモンを用いて情報を伝えることもある。</li> </ul>	
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年の商店街で行われる夏まつりに参加できるものなのかを検討したり、商店街の輪に少しずつ入っている段階。</li> </ul>	事業所の特性上、難しいことも多いのですが、できることがあれば検討してみます。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が全員セッションに入っている時間もよくあるので、様々な想定で誰もがどの役割でも対応できるように訓練を行った。</li> <li>・今年は保護者が救助活動に参加せざるを得なくなった場合を想定し、水消火器訓練を保護者にもしてもらった。</li> </ul>	
	44	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	45	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		避難訓練に不参加だった保護者にも一人ひとり周知させていただいた。	
	46	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットを共有していることが、大きな事故を防ぐことにつながっていると思う。</li> <li>・些細なことでも発信して職員で共有することを意識できている。</li> </ul>	
	47	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	48	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のところ対象児はいないが、研修で学んでいる。</li> <li>・今現在そのようなことは行われていないが、今後のために職員で話し合っ</li> <li>て実施していく必要があると思う。</li> <li>・該当者は現在いないが、やむを得ない場合は十分な説明を配慮したい。</li> <li>・身体拘束の研修はあるが、事前説明や支援計画に記載はわかりかねる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のところ対象児はいませんが、対象児がいる場合には、個別支援計画に記載、事前説明を行っていきます。</li> <li>・年に1回スクール長が虐待・身体拘束についての会議に参加しています。</li> </ul>